

主な内容

2面	セーフティ教室 朝ごはんを毎日食べよう!
3面	「キャベたまたんていとなぞを追え! 三田村信行展」
4面	わがまち学校たんけん隊!

まちだの教育

2011年
7月21日
No. 79



基本方針 1

子どもたちの生きる力と健やかな精神の育成



▲真剣な眼差しで取り組む職場体験

日本国憲法及び教育基本法の精神を基盤とし、人権尊重を柱とする町田市子ども憲章の趣旨を生かして、次代を担う子どもたちに、将来の職業や生活を見通して社会の中で自立的に生きる力や生涯にわたって学び続ける意欲、健やかな精神や豊かな心をはぐくみます。



▲日本の伝統・文化に触れる茶道体験

基本方針 2

学校の教育力の向上



▲教育効果の高い電子黒板を使った授業



▲図書管理システムの導入により、図書の貸出がスムーズに

様々な教育課題に対応し、子どもたちにとってよりよい教育を進めるために、教育環境を充実・整備し、教師の指導力を含めた学校の教育力の向上を図ります。



教育目標

町田市教育委員会は、子どもたちが知性と感性をはぐくみ、心身ともに健康で人間性豊かに成長し、互いの人格を尊重するとともに社会の一員としての自覚をもって地域にかかわる人間に育つことを目指します。また、だれもが生涯を通じ、あらゆる場で学び、支え合うことができる社会の実現を目指します。



基本方針 3

家庭、地域、学校が連携した教育の推進

保護者や地域、関係諸機関と学校とが連携した健全育成などの教育の取組を進めるとともに、情報発信や公開、学校評価を充実し、信頼される学校づくりを進めます。



▲学校支援ボランティアの協力によるわら細工作り



▲田植えを通して、食育を推進しています

基本方針 4

生涯学習の推進

市民が生涯にわたって、いつでもどこでも自由に学び続けることができる社会を目指し、学習の場や機会の充実、環境の整備を進めます。



▲陶芸講座 作品づくりの様子



▲人気の高いまちだ市民国際学講座



東日本大震災による学校の被害と対応

被害

2011年3月11日に発生した東日本大震災では、幸いにも市立小・中学校の児童・生徒のけがなど、人的被害は1件も発生しませんでした。学校施設の被害は、壁の仕上げモルタル等のはく離や落下など、何らかの被害が40校を超える学校で発生しましたが、建物の構造的な大きな損傷は受けずにすみました。

課題と対応

地震発生が下校時刻と重なったこと、情報網や交通網が麻痺し、市内で停電が発生したことで、連絡体制が確保できず、学校により対応に違いが生じました。これらの課題を受け、次のような改善を図っていきます。

- ①全校で「緊急対応マニュアル」を作成し、非常災害時には家庭へ確実に引渡しを行い、家族が不在の場合は、学校で保護することを確認する。
- ②「学校一斉送信メール」を全校で活用するなど、緊急時の連絡体制の整備を進める。
- ③教育委員会と学校との通信手段を確保するため、全校にPHS端末を配備する。

受け入れ

今回の震災では被災地から54人の児童・生徒が町田市内21校の小・中学校に転入してきました。卒業生・PTA・地域の方々から、ランドセル、制服、リコーダーなど多くのご支援ご協力をいただき、ありがとうございました。

子どもたちの非行・犯罪被害防止を目的として、飲酒・喫煙防止、薬物乱用防止、万引き防止、インターネット・携帯電話等のハイテク犯罪防止、連れ去り・性被害防止等につながる悪い誘いの断り方などの内容を取り上げています。

【小学校】

月	日	曜日	小学校名
9	6	火	南 第 四
	12	月	小 川
	14	水	鶴 川 第 一
	16	金	南 第 一
	20	火	南 第 三
	22	木	鶴 間
	26	月	小 山 田 南
	27	火	南 つかし野
	29	木	小 山 田
	30	金	本 町 田
10	14	金	大 蔵 川
	22	火	木 曾 境 川
	25	金	南 第 一

【中学校】

月	日	曜日	中学校名
9	28	水	真 光 寺
11	25	金	鶴 川

※なお、この表に掲載のない学校については、すでに実施されました。



子どもたちの安全を守り、子どもたちが明るく、元気で楽しい学校生活を送ることができるように、市内全ての小・中学校においてセーフティ教室を開催します。

各学校のセーフティ教室の内容ですが、今年度は、万引防止、薬物乱用防止、ハイテク犯罪防止に関するものが多いようです。

開催日程については変更される場合があります。参加を希望される場合、セーフティ教室の詳しい内容については、直接学校へご確認ください。

セーフティ教室

家庭・学校・地域で子どもたちを守ろう

子どもたちの健全育成のためにどのような取り組みをすべきなのか、また、子どもたちが安心して生活することができるような安全な地域社会をつくるためにどうすればよいのかについて、この機会を通して学校とともに考えていただければ幸いです。今後の開催予定は別表のとおりです。多くの皆さまのご参加をお願いします。

節電から環境教育へ

家庭でもご協力をお願いします

教育委員会では、CO2削減に向けて、電気をこまめに消すなどの節電やごみの減量を通して、環境教育を推進しています。

市内の小学5年生、中学1年生の全家庭を中心に、『CO2削減アクション月間』への参加をお願いします。

地球の環境を守るために「今、自分たちができること」を家庭で話し合うきっかけにしたいと考えています。

学校の取り組み

▲木曾境川小学校 緑のカーテン

▲小山ヶ丘小学校 節電を呼びかける掲示

朝ごはんを毎日食べよう!

体力・運動能力、運動習慣等調査

4月から6月の間に、小学5学年と中学2学年を対象に「体力・運動能力、運動習慣等調査」を実施しました。

本年度の調査結果に関しては、9月下旬以降に東京都から学校に返却される予定です。町田市ではすでに、全ての小・中学校において、地域や学校の実態に合った特色ある体力向上のため、縄跳びやラニングなど「一校一取組」運動を実施しており、調査結果が楽しみです。

東京都の昨年度結果からの考察によると、「朝食を毎日食べるかどうか」という生活習慣と今回おこなった体力テストの合計得点との関係では、年齢が上がるにつれて『毎日食べる者』と『毎日食べない者』の体力テストの合計得点の差が大きくなる」といことが言えます。

平成18年4月に「早寝早起き朝ごはん」全国協議会が設立されました。子どもたちの問題は大人一人一人の意識の問題でもあります。子どもの基本的な生活習慣の確立や生活リズムの向上につながる第一歩として、毎日、朝ごはんを食べる生活習慣を身に付けさせてほしいと思います。

職場体験事業 地域で支えよう 「町田っ子」の未来探し

町田市内及び近隣の各事業所や公共施設において、市内中学2年生約3200人を対象に、職場体験事業を実施します。生徒が自分の可能性を発見し、たくましく生きる力を身に付けることができるよう、皆さまのご理解・ご協力をお願いいたします。

また、受け入れ先事業所を募集しています。詳しくは指導課(☎724・2154)までお問い合わせ下さい。

2011年度 実施日および実施校

【第1期】
9月12日(月)から9月16日(金)まで(8校)
鶴川中学校、鶴川第二中学校、真光寺中学校、忠生中学校、木曾中学校、小山田中学校、堺中学校、武蔵岡中学校

【第2期】
11月21日(月)から11月25日(金)まで(6校)
町田第一中学校、町田第二中学校、つかし野中学校、南成瀬中学校、薬師中学校、山崎中学校

【第3期】
1月23日(月)から1月27日(金)(5校)
町田第三中学校、南大谷中学校、南中学校、成瀬台中学校、金井中学校

問い合わせ 教育総務課 ☎724・2172

教育委員会の動き 3月～6月

平成23年3月から6月までの間に、定例会4回、臨時会4回が開催されました。51件の議案を審議し、4件を協議しました。また、12件の請願、35件の報告を受けました。以下にその主なものをお知らせします。

【議案】

- 町田市生涯学習センター条例(案)について可決しました。
- 町田市生涯学習審議会条例(案)について可決しました。

【請願】

- 教科書採択の方法に関する請願・・・不採択
- 歴史教科書の採択にあたっての請願・・・不採択
- 神話記載の歴史教科書の採択を・・・不採択
- 教科書採択に関わる教育委員会について可決しました。

2012年度使用中学校教科用図書採択に係る教育委員会定例会・臨時会開催の日程

次の日程で開催します。

通常開催の教育委員会会議では定員を設けていませんが、8月に開催する会議については、定員を設けます。

傍聴を希望する方は、事前に電話申込みが必要です。

①8月12日(金)午前10時～定例会(予定審議事項・町田市立中学校教科用図書調査協

②8月24日(水)臨時会を傍聴希望される方

③8月24日(水)～8月3日(水)臨時会(予定審議事項・2012年度使用中学校教科用図書採択)

④8月12日(金)定例会を傍聴希望される方

⑤7月20日(水)～8月3日(水)臨時会(予定審議事項・2012年度使用中学校教科用図書採択)

⑥8月24日(水)臨時会を傍聴希望される方

⑦8月4日(木)～8月19日(金)※いずれも土・日を除く9時から17時、教育総務課へ定員①②ともに各70人(申込み順)

【報告事項】

- 東北地方太平洋沖地震による学校施設被災状況について
- 鶴川駅前公共施設の概要について

【報告事項】

- 員会の役割に関する請願・・・趣旨採択
- 東北地方太平洋沖地震による学校施設被災状況について
- 鶴川駅前公共施設の概要について

町田市立小・中学校選択制度等検討委員会設置要綱の制定について

○第二次町田市子ども読書活動推進会議設置要綱の制定について

○(仮称)町田市立大戸・武蔵岡合同校舎型小中一貫校の呼称検討委員会設置要綱の制定について



キャベたまたんていと
なぞを追え!

三田村信行展

入場
無料

7/23(土) ▶ 9/25(日) 10:00~17:00 町田市民文学館ことばらんど

※月曜、第2木曜日休館(ただし9月19日は開館) ※電力需給の状況により、開館日時等を変更する場合があります。

子どもと本との出会いは、いつ、どんな形で訪れるでしょうか? 「こんな子に育ってほしい」「こんなことに目を向けてほしい」という願いをこめて、多くは大人が演出するものです。それでは、大人が考える「子どもにとって良い物語」とはどんなものなのでしょう。心温まるやさしいエピソードや、仲間との友情がテーマの作品……。子どもが何を考えるかゆえに、理想を描いた物語ばかりが良いもののように見えてしまいがちです。しかしこのことは、子どもが読む物語の多様性を狭めてしまっていないでしょうか?

本展で紹介する町田在住の児童文学作家・三田村信行さんの作品は、誰もが漠然と抱いている子どもの本のイメージとは、少し違った色合いがあります。ほのぼのとした雰囲気のある作品でもちらりと影のぞいたり、何の疑いもなく受け入れていた日常がふとたたきかけから異質なものに変わってしまった……。なぞときを楽しむ探偵物語や、歴史上の人物の生き方を追った時代小説なども物事の影の部分が描きまわっています。

子どもたちは現実の生活の中で、本人の意思や行動とは裏腹に、不条理な状況に追い込まれることがあります。しかし、そこに用意された答えはなく、解決の糸口を自らの手で探していかななくてはなりません。そのことを、三田村さんは「児童文学」という形で描き出しているのです。

2部構成の本展では、第1

オープニングイベント
「来て・見て・広げよう! おはなしの世界」

日時: 7月23日(土) 10:00~11:00
定員: 100名(先着順) 申込み不要

部において三田村さんの作品の魅力をもチーフごとに紹介し、その魅力を探ります。『おとうさんがいっぱい』などで三田村さんとコンビを組んだ佐々木マキさんの作品をはじめ、挿絵の原画も展示します。

第2部では、近年、特に人気の高い「キャベたまたんてい」シリーズの世界を再現します。この作品は、不思議な事件とユニークなキャラクターが魅力です。キャベたまたんていは柔軟な発想と行動力を駆使して真相を解明していきますが、犯人がわかっていても捕まえてこらしめたりはしません。事件の背景を明らかにした上で、彼らが抱えた問題を解決する方法を導き出すのです。

今回はどんななぞが隠されているのでしょうか? キャラクターと一緒になぞを追いつながら、お話を楽しんでいただければと思います。

一味違った物語の世界との出会いが待っています。ぜひ、文学館に遊びに来て下さい。

問い合わせ
町田市民文学館ことばらんど
〒194-0013 原町田4-16-17
☎739-3420

ワークショップ

I. 「“キャベたまたんていカルタ”をつくろう!」
日時: 8月4日(木) 14:00~16:00
対象: 小学1年生~6年生
定員: 20名(先着順)

II. 「キャベたま工作会」
日時: 8月9日(火)
①10:00~12:00 ②13:30~15:30

III. 「おはなし作りにチャレンジ!」
日時: 8月18日(木)
①10:00~12:00 ②13:30~15:30

※II・IIIともに
講師: 宮本えつよしさん
対象: 小学3年生~6年生
定員: 各回20名(先着順)
※申込み(I~III全て)
7月21日(木) 9:00~
電話で町田市民文学館(739-3420)へ

ことばらんど劇場

日時: 8月27日(土) 11:00~12:00
上演: ひなた村人形劇グループ「千羽鶴」
町田かみしばいサークルふわふわ座
定員: 100名(先着順) ※申込み不要

いつでも参加できるイベント

I. なぞとき! ワークシート
II. キッズパスポート(夏休み期間中)
III. 文学館共通パスポート
鎌倉文学館、神奈川近代文学館との共通パスポート。(期間8月2日~31日)

三田村信行さん×宮本えつよしさん対談
「キャベたまたんていが生まれるまで」

日時: 9月11日(日) 14:00~16:00
対象: 一般
定員: 100名(先着順)
申込み: 8月1日(月) 13:00~
電話で町田市イベントダイヤル(724-5656)へ

展示解説
日時: 7月27日(水)、8月13日(土)、8月24日(水)、9月10日(土)、9月21日(水) いずれも14:30~15:30
※申込み不要

あつまれ! 土曜おはなし会
日時: 毎週土曜日14:00~14:30(7月23日はのぞく)
定員: 20名(先着順) ※申込み不要

プレイルーム
日時: 毎週水曜日10:00~16:30

まちだ市民大学
HATS
講座紹介

まちだ市民大学HATSは「あなたを励まし、地域を育てる」をコンセプトに講座を実施しています。

後期講座の一部をご紹介します。

◇ ◇ ◇

○ **まちだ市民環境講座**

「町田市環境マスタープラン」から世界規模の環境問題まで、私たちが暮らす中でできることを考えます。リサイクル文化センターや剪定枝資源化センターの見学も実施します。

○ **陶芸入門講座**
花器、茶碗の他に、縄文土器を制作し、野焼き体験も行います。

○ **陶芸電動ロクロ体験講座**
町田のやきものの歴史や、やきもののリサイクルについて学びながら、作品の制作を行います。

○ **「くろ」と「からだ」の健康学(今年度後期より開講)**
さまざまな視点から健康について考え、講義を中心に行います。

○ **町田市環境マスタープラン**
「町田市環境マスタープラン」から世界規模の環境問題まで、私たちが暮らす中でできることを考えます。リサイクル文化センターや剪定枝資源化センターの見学も実施します。

○ **まちだ市民国際学**
○ **町田の郷土史II**
○ **人間関係学**

現在、後期講座受講生の募集案内を各市民センター・図書館などで配布しています。

問い合わせ
まちだ市民大学HATS
☎729-1195

▲陶芸入門講座作業風景

連載
町田市の文化財をご存知ですか
第4回 本町田遺跡(東京都指定史跡)

本町田遺跡は1967年に発掘調査が行われ、およそ5500年前の縄文時代前期の住居跡が4軒とおよそ2000年前の弥生時代中期の住居跡7軒が発見されました。これらは多摩丘陵地域における縄文時代・弥生時代の典型的な集落形態をとっています。その後、遺跡公園として整備され、それぞれの時代の住居が1軒ずつ復元されましたが、老朽化が進んだため2007年より復旧工事が行われ、本年7月16日に一部をリニューアルオープンしました。今後、多目的施設等の整備を行う予定です。

所 在: 本町田3455-36
開園時間: 9:00~16:30
休 園 日: 月曜日(祝日の場合は開園、翌日休園)
案 内: 小田急町田駅西口バスセンター1番乗り場から藤の台団地行きバスで「市立博物館」下車、徒歩7分

南大谷小学校の教育

地球を愛し、地球と共に、地球を大切にす

よく考えて行動する子ども
思いやりのある子ども
明るく元気な子ども

今年度、学校の花壇を開墾して新たに一つ、学校の水田（一面あたり縦3m×横11m）が完成。2つの水田は太いパイプでつないで水管理をしています。



自分たちで育てた苗の田植え

おそらく、学校敷地内にある水田としては町田市内の小学校で一番大きい水田でしょう。6月16日には5年生が田植えを行いました。

「しろかき」をして2週間経ってからの少し遅い田植えでした。子どもたちは農業ボランティアの方の指導のもと、膝まで田んぼに入りながら元気に苗を植えました。苗は教室で育てたものと小山田地域から提供された6種類の稲です（コシヒカリ、日本晴、絹光り、古代米、黒米、赤米）。どれだけ収穫できるかは天候次第ですが、水の管理、生育を記録しながら豊作になるよう祈ります。バケツ稲作りも同時に行っています。各学級10個のバケツに「コシヒカリ」を育てます。バケツは水の管理が大変ですが稲刈りの時季まで様子を見ながら水や追肥を入れていきます。他にも南大谷小学校の農園では黒豆・ジャガイモ・サツマイモ・トマト・里芋そして陸稲（畑で作る餅米）を栽培しています。収穫が楽しみです。自分たちの手で作って食べる生産体験活動を通して、生きる力、



農業ボランティアによる種まきの説明



手作りの水田2面をつなぐ配水管

思いやりの心、感謝の心を育てます。また、今年度は、校庭の芝生化やグリーンカーテンにもチャレンジし、環境教育を一層推進していきます。

町田第五小学校の教育

「自分もみんなも大切にし、共生する子」を目指して

健康な子ども
考える子ども
助け合う子ども
進んでやる子ども

本校は東京都人権尊重教育推進校として、全ての教育活動を通し、道徳教育の充実を図るとともに人権教育の推進を図っています。今年度は特に各学年における教科等の指導を通して、人権尊重の理念である「思いやり」や「親切」、「生命尊重」や「社会規範」などについて考える授業や、東京都の人権課題である「女性」や「子供」、「高齢者」などの問題を考える授業を中心に校内の研究に取り組んでいます。



道徳の授業の様子

特に、地域の特性を生かした取り組みとしては、自然や人とのかかわりなどの体験活動を重視しています。



6年生 運動会全員ピラミッド

例えば、運動会では6年生が全員ピラミッドに挑戦して、力を合わせる大切さを学びました。また、6月25日には、子どもたちが学年を越えてふれ合う活動として「町五ふれあいまつり」を行いました。6月は東京都の「ふれあい月間」でもありましたので、人とのかかわりの大切さについて、講話や授業でたくさん学び、考えることも大切にしました。

これらの活動は、学校だけでなく玉川学園の家庭や地域の教育力・ネットワークにより実現できているところです。将来、子どもたちがふるさと玉川学園の担い手となることを願いながら、豊かな体験活動の充実と学校・家庭・地域が共に育てる活動の充実をこれからも図っていきます。



町五ふれあいまつり

わがまち学校たんけん隊!

つくし野中学校の教育

つくし野中学校に代々受け継がれてきた良き伝統

- あいさつがしっかりできる生徒
- 真剣に学び取ろうとする生徒
- 思いやりがある生徒
- 協力して行事に取り組む生徒
- 自ら心身を鍛える生徒

これらを土台に、より高さを求めて、相互に認め、励まし合い、進んで学び、たくましく、思いやりと節度ある生徒を育てるために、保護者・地域社会に「信頼され、愛され、支えられる学校」をキーワードに、保護者・地域社会の人々とともに、子どもを育てる喜びを共有する教育活動に励んでいます。



ダンスステージ

【特色ある教育活動】

つく中フェスタ36〈10月29日(土)〉 “絆・心ひとつに”を今年度のテーマとし、PTA活動の1つの柱として、生徒・保護者・地域の諸団体の参加・協力による手作りのイベント(お祭り)が開催されます。校庭に特設ステージを設け、吹奏楽部のオープニングから、有志のダンス、コーラスの発表や各部活動のゲームコーナー、バザー、恒例となっている「父親の会」のフードコーナーなど、つくし野中でうらかな秋の一日を楽しんでみませんか。

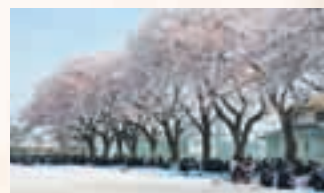


コーラスの発表

町田第三中学校の教育

生徒会企画 お花見お弁当会と三中マン

三中の名物と言えば校庭の南側にズラリと並んだ桜並木でしょう。開校時に植えたと思われるこのソメイヨシノの大木は、入学式の素晴らしい演出や満開の美しさはもちろんのこと、体育大会や体育の授業、夏の部活動の時には気持ちよい木陰をつくり、生徒たちの憩いの場となっています。今年度は、生徒会の提案で満開の桜の下「お花見お弁当会」が開かれました。1辺が10mの正方形のブルーシートにお弁当や給食をもってクラスずつ座り、のどかなひとときを楽しみました。お弁当を食べ終わった後は、舞い落ちる花びらを楽しんだりしてとても楽しかったと評判でした。

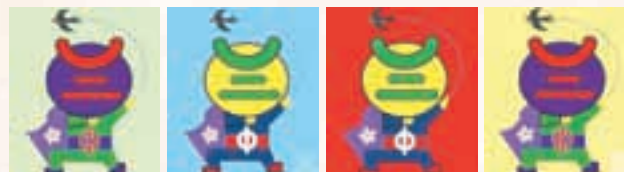


満開の桜の木の下での昼食



舞い落ちる花びらをつかまえました

また、今年の生徒会はなかなか活発で、いろいろなアイデアを出し、楽しい企画をしています。この「お花見お弁当会」の次は、スクールマスコット「三中マン」の登場です。実はこの企画、昨年度からあったもので、三中の生徒のマスコットとなるようなマークを創ろうとアイデアを練っていたのです。全校生徒からマスコットのデザインを募集し、その中からよいものを投票で選ぶことにしました。三中のシンボルとも言える「桜」、校歌に登場する「ツバメ」などいろいろなアイデアの中から一番人気の高かった「三中マン」が選ばれました。仕上げは宮下副校長先生が、得意のマンガの腕前を生かし、下のようなスクールマスコット「三中マン」が完成しました。



体育大会では4色のクラスカラーでお目見えし、なかなかの評判でした。